

「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的

・収入 135億8,458万円

・支出 134億4,025万円

●資本的

・収入 14億9,905万円

・支出 29億4,179万円

◇収益的収支が3年連続の黒字

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う患者数の減少により入院・外来収益が大幅に減少しましたが、病院全体で材料費などの経費削減に努めたことにより1億4,433万円の黒字となりました。

水道事業

●収益的

・収入 21億681万円

・支出 18億7,217万円

●資本的

・収入 2,611万円

・支出 4億3,150万円

◇収益的収支が19年連続の黒字

工場用の使用水量の減少等により、水道事業収益は前年度から減収となりましたが、県営水道から供給を受けている水道水の受水量の調整を図り、受水に係る費用を削減しました。これらにより、2億3,464万円

下水道事業

●収益的

・収入 34億5,272万円

・支出 33億9,859万円

●資本的

・収入 17億6,303万円

・支出 27億3,409万円

◇収益的収支が5年連続の黒字

下水道に接続した世帯の増加による使用料収入の増加、企業債償還利息の減少による費用の削減により、5,413万円の黒字となりました。これは一般会計からの補てんによるものであるため、引き続き、接続率の向上を図るなど経営の健全化に努めてまいります。



半田市の財政を家計にたとえてみると…

1か月の支出44万8千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)など、46万円の収入がありました。

今後、家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、計画的に貯金(基金)を増やすことも考えなくてはなりません。

はんだ家1か月の家計簿 ☆ () は予算上の項目です。

収入

月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	23万7千円
実家からの仕送り (国・県支出金)	18万4千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	2万3千円
先月の残り (繰越金)	1万3千円
ローンの借入 (市債)	3千円
合計	46万円

支出

家族への仕送り (繰出金、補助費等)	18万6千円
生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	10万6千円
家族の医療費など (扶助費)	7万9千円
家の増改築、補修など (維持補修費、普通建設事業費)	3万6千円
貯金、その他雑費 (基金積立金など)	2万6千円
ローンの返済 (公債費)	1万5千円
合計	44万8千円

※日本の一世代当たりの平均所得月額46万円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」)